

製品名: eIF4E ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21118**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:25kD;Observed MW:25kD

抗原情報

遺伝子名	EIF4E
別名	EIF4E;EIF4EL1;EIF4F;Eukaryotic translation initiation factor 4E;eIF-4E;eIF4E;eIF-4F 25 kDa subunit;mRNA cap-binding protein
遺伝子 ID	1977.0
SwissProt ID	P06730
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

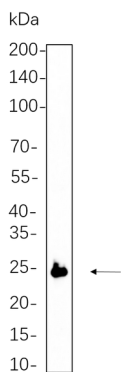
背景

細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、真核生物翻訳開始因子 4F 複合体の構成要素であり、メッセンジャー RNA の 5'末端にある 7-メチルグアノシンキャップ構造を認識する。コードされるタンパク質は、リソソームを 5'キャップ構造にリクルートすることで翻訳開始を助ける。このタンパク質と 4F 複合体の結合は、翻訳開始における律速段階である。この遺伝子はプロトオンコゲンとして機能し、その発現と活性化は形質転換および腫瘍形成と関連している。この遺伝子の複数の偽遺伝子が他の染色体上に見出される。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2015 年 9 月]

研究分野

-

画像データ



Hela 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを eIF4E ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロッキングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。